2025（令和７）年度　一般入試第１回

算数解答用紙

1	(1) 1	(2) 2	(3) 56	(4) 1
	(5) 64	(6) 13	(7) 17 : 11	(8) 150

2	(1) 24	(2) 375 g	(3) 72 個	(4) 23 通り
	(5) 7 個	(6) 240 ページ	(7) 3 cm	(8) 12 cm²

3

(1)（式または考え方）

AさんとCさんの速さの和は分速140mで、5分間で2人が移動する距離は140×5＝700(m)である。これは、BさんとCさんが出会ったときのAさんとBさんの距離と等しく、AさんとBさんは分速100mずつ離れていくので、700÷100＝7(分)分の距離とわかるので、BさんとCさんが出会ったのが出発後7分後であり、その5分後にAさんとCさんが出会うので　7＋5＝12

(答)　12　分後

(2)（式または考え方）

(1)の結果より、

AさんとCさんの速さの和140mで、12分間移動した結果が学校と駅の間の距離だから

140×12＝1680

(答)　1680　m

4

(1)（式または考え方）

$\frac{1}{11}=\frac{9}{99}$ だから求める分数の個数は

$\frac{10}{99}$ から $\frac{99}{99}$ までの分数の個数である

∴ 99－10＋1＝90

(答)　90　個

(2)（式または考え方）

$\frac{1}{33}=\frac{3}{99}$

$0.7=\frac{70}{100}<\frac{70}{99}$ であり、

$0.7=\frac{6930}{9900}$，$\frac{69}{99}=\frac{6900}{9900}$ より $\frac{69}{99}<0.7$

であるから、求める分数は $\frac{4}{99}$ から $\frac{69}{99}$ までのもので、その個数は

69－4＋1＝66

(答)　66　個

受験番号	＊評点

（＊印の評点らんには，何も書かないこと）